

日高市カーボンニュートラルに向けたロードマップ(案)に対する市民コメントの募集結果

意見募集期間: 令和6年1月15日(月)から2月13日(火)まで 人数及び意見数: 意見提出者 9人(提出意見 32)		
No	寄せられた意見	市の考え方
1	<p>全体を通して</p> <p>本ロードマップは行政が策定するもので公用文に該当します。公用文の作成に当たっては基準やガイドラインがあります。 ① 正確に書く、分かりやすく書く、気持ちに配慮して書く。市民にとって分かりやすくなるよう仕上げてほしいと思います。 ② 常用漢字表に原則拘束されます。平仮名が妥当かと思われる言葉の表記については、よく検討ください。 ③ 送り仮名の記載も難しい言葉があるので、十分確認してください。 ④ 「等」、「など」は、本当に必要かどうかよく見てください。</p> <p>削減目標達成に向けて</p> <p>「中期目標2030(令和12)年までに 2013(平成25)年度比で46.0%の削減、長期目標2050(令和32)年までに カーボンニュートラルを目指します。」とロードマップに掲げられています。中期についてはあと6年しかありません。P7に温室効果ガス排出量の削減に向けた取組例が示されていますが、大変失礼な物言いになってしまいますが、市民に対しての呼び掛けとしては、弱く危機感や切迫感が感じられません。次に示すようなものではまだまだ弱いと思いますが、例えば ・週3日はノーカーデーにする。 ・週3日はテレビを見ない。 ・週2日は入浴を我慢する。 ・時間外勤務は前年度比50%削減する。 ・夏の室内設定温度は熱中症にならない程度まで上げる。 ・冬の室内設定温度は低体温症にならない程度まで下げる。 ・公共工事の建設機械は省エネタイプを導入していただく。 再度検討していただきたいと思います。 削減に向けては市民、企業、一体となった強力な市民生活や企業活動が求められます。中期目標20230(令和12)年の6年間で、毎年82.3千t-CO2削減することになっています。 市民であれば1人当たりどのくらいの削減が必要か、こういう行動がどれだけ削減に貢献できるか、どうすれば目標達成できるかなどの言及がありません。 具体的な量と時間の工程を明確にした実施計画が必要です。市民や企業の絶対的な協力も必要です。協力を得るためには、地区説明会、企業へ出向くなどの方策も検討していただきたいと思います。時間が限られた中では、「削減意識を醸成させる、向上させる」では弱く、定着させ行動してもらわなければなりません。 同様に宣言したほかのダイア4市も取り組んでいるはずですが。飯能市は2002(平成14)年にISO14001取得し環境施策に取り組んでいます。先進市の取組も参考にされたいと思います。</p> <p>用語解説について</p> <p>専門用語について、用語解説が記載されています。このほか、精査の上、難しい言葉については、更に追加していただきたいと思います。</p> <p>限られた時間の中で</p> <p>日本だけに限らず世界中で頻発している、集中豪雨、干ばつなどは、温室効果ガス排出量の増大が原因と見られています。アフリカで農作物が育たなくなり、難民化してヨーロッパへ小舟で向かう人々のことが報道されていました。自然界の異変で農作物の高騰など、世界経済にも甚大な影響が発生しています。次世代への持続可能な社会への継承もできません。 このようなことをストップさせるためには、市民一人一人の意識の定着と実践が求められます。大変失礼な物言いになってしまいますが、関心が低い人もおられます。自分としては、行政にばかり依拠することはしたくありませんが、このことだけは行政が旗振り役になりリーダーシップを発揮してもらいたいです。 市民コメントを受け、庁内策定会議や環境審議会が開催されると思いますが、十分議論を尽くしていただきたいと思います。 行政、企業、市民が一体となって温室効果ガス排出量が削減でき、当座中期目標が達成できればと思います。</p>	<p>ご意見ありがとうございます。</p> <p>ご意見に基づき、全体を確認し、必要な修正をいたします。</p> <p>用語解説の必要な用語については、各ページの下部にもできる限り掲載させていただくことといたしました。</p> <p>ご指摘のとおり、温室効果ガスの削減については、喫緊の課題であり、市民や事業者の皆様のご意識醸成が、行政が担うもっとも重要な役割の一つであると考えています。</p> <p>皆様に取り組んでいただける省エネ事例については、「日高市 省エネガイドブック～今からできる節約術～」として市ホームページで公開しており、本ロードマップと一体的に活用し、意識醸成を図ってまいります。</p> <p>本ロードマップについては、理想的な将来ビジョン、各部門の削減目標に向けた取組例、用語解説等を盛り込み、できる限り、これまで関心の低かった方にも親しみやすい形で策定できるよう進めています。</p> <p>今後、市民や事業者の皆様のご意識醸成を図りながら、このロードマップに基づき、目標達成に向け具体的な施策を実施してまいります。</p>
2	<p>7ページ 温室効果ガス排出量の削減に向けた取組例</p> <p>1. 温室効果ガス排出量の削減に向けた取組例が1枚に纏められていますが、産業部門、家庭部門等々の領域がありますので、家庭部門(市民)が取組むべき事例、産業部門が取組むべき事例等々、それぞれに分けた方が理解し易いと思います。 2. 少しでも市民に関心を持ってもらう為に家庭内の省エネ事例(可能であれば定量的に)や行政のサポート体制なども明記した方がよいと思います。 3. 日高市の環境特徴を活かした取組事例にするとプロセスが明確になり取組の実効性が高まると考えます。</p> <p>ロードマップ資料に対する所見 (個別ではありません)</p> <p>* 資料を拝見して所見を述べさせていただきます。 カーボンニュートラルに向けた取組に対する行政のプライオリティー(本気度)は分かりませんが、展開には「人・物・金」が当然必要となります。このような長期間での展開に関心を示す市民は少ないと思われる。2030年まで7年ですがCO2削減施策の具現化と統制を確実なものにしないと、ここ数年の状況が継続して推移するものと察します。いかに市民や企業に強い関心を持ってもらうかが非常に大事だと思いますので、ソフト面の取組施策も必要と思います。 国、県に沿った方針管理と思いますが、一般的には2030年の中期、2050年の長期はあまりにも長い目標管理です。少なくとも3年程度で取組事項のレビューを行うことが肝要と思われる。</p>	<p>ご意見ありがとうございます。</p> <p>ご意見に基づき、全体を確認し、必要な修正をいたします。</p> <p>国、県、市を含めた行政のサポート体制につきましては、時期により変化してきて、中長期的なビジョンを示した本ロードマップには記載をいたしません、市ホームページで随時公表してまいります。</p> <p>また、皆様に取り組んでいただける省エネ事例については、「日高市 省エネガイドブック～今からできる節約術～」として市ホームページで公開しており、本ロードマップと一体的に活用し、意識醸成を図ってまいります。</p> <p>ご指摘のとおり、カーボンニュートラルの実現に向けては、いかに市民や事業者の皆様に関心を持っていただくかが肝要であり、市民や事業者の皆様のご意識醸成が、行政が担うもっとも重要な役割の一つであると考えています。</p> <p>本ロードマップについては、理想的な将来ビジョン、各部門の削減目標に向けた取組例、用語解説等を盛り込み、できる限り、これまで関心の低かった方にも親しみやすい形で策定できるよう進めています。</p> <p>今後、市民や事業者の皆様のご意識醸成を図りながら、このロードマップに基づき、目標達成に向け具体的な施策を実施してまいります。</p>
3	<p>良いと思います。</p> <p>個人的には、</p> <p>屋根の上に太陽発電設備をつけることに対しては</p> <p>身体への影響について少し不安を感じます。</p>	<p>ご意見ありがとうございます。</p> <p>現在のところ太陽光発電設備による健康被害等は確認されていませんが、本ロードマップの将来ビジョンに示すように、自然や人と共存できるカーボンニュートラルの取組を進めてまいります。</p>
4	<p>P5 必要な再生可能エネルギー導入量は?</p> <p>一般家庭に太陽光発電設備を導入する想定かと思いますが、一般家庭何件を想定されていますか? 一般家庭に太陽光発電を設置するのであれば、加えて蓄電池を設置し、EVもセットで導入することで自動車から排出されるCO2削減にもつながり有効手段だと思います。</p> <p>P9 森林の多面的機能について</p> <p>希望的観測ですが、日高市の名産である栗の木を市が抱える耕作放棄地に植樹し育てることでCO2を吸収、採れた栗は名産品として収穫増、収益増に活用できないでしょうか? また、栗の木の伐採木は建築材、バイオマス燃料、木工品として活用することでCO2削減手段、耕作放棄地という地域課題を解決しながら、特産品である栗を活用した地域活性化も同時に実現することができる日高市オリジナルのサイクルとして検討できたらと思いました。</p>	<p>ご意見ありがとうございます。</p> <p>太陽光発電設備の家庭における新設分2.252kWは、約469世帯に相当します。 ご意見のとおり、太陽光発電設備とともに、蓄電池やEV充電器などの再生可能エネルギー機器を設置することは、有効な手段であると考えます。 今後、本ロードマップに基づき、必要な支援を検討してまいります。</p> <p>本ロードマップに掲げる目標を達成するためには、緑地等の面積を拡大させ、二酸化炭素の吸収量を増加させることも重要です。 ご提案のような内容も含め、カーボンニュートラル実現のための緑地等の面積を拡大させるよう取り組んでまいります。</p>
5	<p>(1ページ) 日高市は(ゼロカーボンシティ共同宣言)を表明して、国の目標に貢献する意向を示しました。</p> <p>(2ページ) 日高市においては最も有効な再生可能エネルギー利用は太陽光発電です。とうたっています。</p> <p>私は東日本大震災の年に原子力発電や火力発電に頼る生活は良くないと感じ、屋根の上に太陽光パネルを設置しました。それとともに、化石燃料の使用も止めようと考え、ストーブの利用もほとんど止めました。 その後、数年たってから発電で使い切れない電力を蓄電するため、蓄電池を設置しました。初期費用が高く、なかなか決心のつかないことでしたが、設置して気がついた事は、ガス、電気、灯油を使っていた時と比べると電気だけにして、費用も蓄電池のおかげで大変少なくなり、CO2排出削減に貢献していると感じています。</p> <p>(7ページ) その他に温室効果ガス排出量の削減に向けた私の取り組みについて伝えます。 作る側ではないので、使うことについて、ワンウェイプラスチックは使わない、貰わない、徹底して注意しています。ゴミの分別に心がけ、生ごみはコンポストに入れて、1年で切り替え、畑の肥料にします。 個人で心がけてやれることは多々ありますが、やれることには個人差があります。</p> <p>そこで提案です。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・東京都のように新築物件には太陽光パネルの設置をする。のような法律の改正が必要です。 ・家を建てる時には太陽光の集めやすい方向にする。見栄えだけでなく、将来屋根に太陽光の設置ができるよう、建築業者に何らかの義務を科せる。 ・個人の努力だけでは実現が少なくなります。埼玉県や日高市の補助があれば努力する人が多くなるのではないのでしょうか。 	<p>ご意見ありがとうございます。</p> <p>ご意見のとおり、カーボンニュートラルの実現に向けては、個人の努力だけではなく、市はもちろんのこと、国や県も含めたサポートが必要です。</p> <p>市では、今後、このロードマップに基づき、市民や事業者の皆様に対する意識醸成を図るとともに、様々な取組を実施していくとともに、国や県の取組につきましても、引き続き、市ホームページ等で周知していきます。</p>

意見募集期間:令和6年1月15日(月)から2月13日(火)まで 人数及び意見数:意見提出者 9人(提出意見 32)		
No	寄せられた意見	市の考え方
6	<p>●修正希望点</p> <p>1) はじめにの中で2つ目のセンテンスで、「カーボンニュートラルとは、CO2(二酸化炭素)等～状態です」とありますが、「CO2～人為的な排出量から植林や森林管理などによる吸収量を差し引いて、その合計を実質ゼロにすることです」のほうが分かりやすいのではないのでしょうか。</p> <p>2) 1の国内外の動向の中の2つ目のセンテンス「今後、本市では2050年～」とあるが、この取り組みは、市だけではなく市民と事業者がともに協力することが非常に重要だと私は認識しています。したがって「今後、本市では2050年カーボンニュートラルに向けた取組を、市民・事業者の皆様と一緒に取り組んでいきたいと考えています」のように、市民や事業者とともに行動するように変えたほうが良いのではないのでしょうか。</p> <p>3) 「3の日高市の削減目標は？」の部分で、「2050年実質ゼロ達成のために」を加筆したほうが良いのではないのでしょうか。</p> <p>4) 文字揺れがあります。ご確認ください。</p> <p>●良かった点</p> <p>1) 図を多用しており、非常に分かりやすい内容になっている点。</p> <p>2) わが市のマスコット、「クリッピー、クリッカー」を目次に入れるなど工夫されている点。</p>	<p>ご意見ありがとうございます。</p> <p>ご意見に基づき、全体を確認し、必要な修正をいたします。</p> <p>本ロードマップは、図や表、またマスコットキャラクターを用いることで、できる限り、皆様に親しみやすい形で策定するよう進めています。</p> <p>今後、市民や事業者の皆様のご意識醸成を図りながら、このロードマップに基づき、目標達成に向け具体的な施策を実施してまいります。</p>
7	<p>2ページ BAU値として 2030年 1021.5千t-CO2 2040年 1029.6千t-CO2 2050年 1037.9千t-CO2 は、どのように見積ったのか、算定根拠がわからない。 また一番数値の大きい工業プロセス分野の値が2020年の665.4千t-CO2が2050年まで変わらないのはなぜか。 算定の考え方(出典があれば出典についても)を、記述した方が良い。</p> <p>4ページ(6ページ) 2030年の削減量内訳のCO2吸収量 3.1千t-CO2以上は、どう実現するのか。</p> <p>6ページ 2020年には、吸収量3.1千t-CO2が実現できているが、どう実現したのか。 同様に、2050年の吸収量 4.4千t-CO2は、どう実現するのか。 排出量の削減根拠については、記述があるが、吸収量についての記述が見あたらない。 9ページに森林の多目的機能に植林の記述があるので、植林による吸収量の定量的な根拠を記載したらどうか。</p> <p>13ページ トプランナー制度の説明文中、「エネルギーの使用の合理化等に関する法律」とありますが、2023年4月より「エネルギーの使用の合理化及び非化石エネルギーへの転換等に関する法律」に名称が変わっています。</p>	<p>ご意見ありがとうございます。</p> <p>2ページの値については埼玉県温室効果ガス排出量算定報告書の算定地をもとに算定しており、2030年、2040年、2050年のBAU値は、今後追加的な対策を見込まないまま推移した場合の将来の温室効果ガス排出量として、過去数値の平均値等から算出しております。出展や算出方法も併せて公表するように検討してまいります。</p> <p>また、4及び6ページについて、CO2吸収量である3.1千t-CO2については、現状の森林計画対象面積及び都市緑地の面積(約1,158ha)から算出しています。吸収量については、様々な未活用地の緑化等、緑地等の面積を拡大することで増加させてまいります。</p> <p>13ページの法律名、その他必要な修正について、ご意見に基づき、全体を確認しながら進めてまいります。</p>
8	<p>カーボンニュートラルの実現は、先ず環境審議会から！と思いますので、素晴らしい資料を送っていただきましたが…ペーパーレスに挑戦して、委員のPCに添付ファイルで送っていただき、当日各自が持参し、会議当日もプロジェクターで映していただき、会議に参加したいと思いますが…いかがでしょうか。</p> <p>ロードマップの内容は、わかりやすく、興味深いものでした。 特にP.7の取り組み例は、ひとりひとりが心がけやすいと思いますので、すぐにでも周知すべきと思いました。</p> <p>最近二つの言葉を知りました。 ひとつは「気候難民」 気候変動の影響により、今居る場所に住めず、居場所を追われる人々 もうひとつは「気候正義」 温室効果ガスを排出してこなかった国々が、排出していた国よりも大きな被害を受けるという、不公平を正していくべきという考え方</p> <p>地球はひとつ…大切な私たちの地球を護るために、今から出来ることに、前向きに取り組んでいきたいと思います。</p> <p>また、未来を作る子供たちにもわかりやすい、ロードマップが必要だと思います。 アニメのような挿絵など…子供たちが楽しみながら、地球に優しくする心を自然に養う方法を考えていきたいです。例えば空き地などを利用して、啓発出来る空間を作ること、親子の対話の時間も増えると思います。</p>	<p>ご意見ありがとうございます。</p> <p>カーボンニュートラルの実現に向けて、ペーパーレス化についてもとても重要と考えています。本ロードマップの公表の際には、紙による配布は行わず、電子による公開・活用を行う予定です。</p> <p>また、ご意見のとおり、令和6年度には「子ども向け脱炭素ロードマップ」を策定する予定となっております。策定した後は、子供向けの環境教育等で活用してまいりたいと考えています。</p>
9	<p>P3 日高市の削減目標の高さに驚きましたが私も頑張ります。</p> <p>P5 日高市において最も有効な再生可能エネルギー利用設備は太陽光発電設備であることがよくわかりました。</p> <p>P7 今、すぐにできることを考えました。 ・食品ロスを減らす。 ・電気はこまめに切る。 ・なるべく公共交通機関を利用する。</p>	<p>ご意見ありがとうございます。</p> <p>本ロードマップにもありますとおり、市、市民、事業者が一体となってカーボンニュートラルへの取組を加速させていくことが重要であると考えています。</p> <p>今後も積極的に可能な取組を進めていただくようお願いいたします。</p>